

令和4年中の埼玉東部消防組合の火災概要

火災の発生状況（構成市町別）

区分	市町	加須市	久喜市	幸手市	白岡市	宮代町	杉戸町	合計
出火件数（件）		47	32	23	18	10	16	146
建物火災		19	21	14	9	3	9	75
車両火災		4	3	1			1	9
その他の火災		24	8	8	9	7	6	62

1 火災件数

令和4年中の火災（出火）件数は、146件で、前年の143件から3件増加し、1日あたりの発生件数は0.4件でした。また、過去5年の平均火災件数は、約152件となっています。

火災件数を、「建物火災」、「車両火災」及び「その他の火災」に分類すると、「建物火災」は75件と最も多く、全体の51.3%を占めており、「車両火災」は9件（6.2%）、「その他の火災」は62件（42.5%）となっています。

2 火災原因

火災原因は、**1位は「放火（放火の疑い）」**の25件、**2位は「電灯・電話等の配線」**の13件、**3位は「こんろ」**の10件、**4位は「たばこ」**の9件となっています。

前年と比較すると、「放火（放火の疑い）」は4件の増加、「電灯・電話等の配線」は7件の増加、「こんろ」は3件の減少、「たばこ」は1件の減少となっています。

3 火災による死者及び負傷者の状況

火災による死者は4人で、前年と比較すると1人増加しており、火災による負傷者は24人で、前年と比較すると3名減少しています。

4 消防局から住民の皆様へのお願い

- (1) 「放火（放火の疑い）」による火災が火災原因の最上位となっています。
“家の周りに燃えやすい物を置かない”、“ごみは決められた日の朝に出す”など、放火されづらい環境づくりに御協力ください。
- (2) 火災件数の過半数は建物火災です。そのうち、住宅で火災が発生した時に、早期に火災を発見し被害を軽減するためには、住宅用火災警報器を設置することが大切です。そのため、住宅用火災警報器を設置していない場合は、住宅用火災警報器の設置をお願いします。また、設置後10年を経過した住宅用火災警報器は更新時期を迎えています。適切な維持管理をお願いします。

なお、いざというときに正しく作動するよう、定期的に作動確認を実施するよう習慣づけてください。
- (3) 調理中のこんろの火が袖口に燃え移るなど、使用器具の火が身に着けている衣類に着火する『着衣着火』が、近年、多発していますので、特に注意しましょう。
- (4) こんろ火災が増加しています。“調理中はその場を離れない”、“こんろの周囲に燃えやすい物を置かない”といった基本的なことに留意しましょう。

【お問合せ先】

埼玉東部消防組合消防局予防課

電 話 0480-21-1014

F A X 0480-21-1028

メールアドレス yobou@saitamatobu-119.jp